

申請書の書き方

様式第 2 （第 6 条関係）

電気工事士免状交付申請書

年 月 日

埼玉県知事

申請者

住 所

電 話

（フリガナ）

氏 名

生 年 月 日

年 月 日生

電気工事士法第 4 条第 2 項の規定により第 二 種電気工事士免状の交付を受けた
いので、次のとおり申請します。

免状に記載する氏名

楷書でお書きください

住民票等に記載された旧姓・通名が使えます。
必ず、フリガナを記入してください。
「同上」とは書かず必ず記入してください。

（フリガナ）

（氏名）

◎ 電気工事士免状を 受ける資格	1 第二種電気工事士試験合格 2 養成施設修了 3 認定
※ 経 過 欄	※ 受 付 欄

- （備考）
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - ◎印欄は、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
 - ※印欄には、記入しないこと。
 - この申請書に、住民票等及び顔写真（この申請書を提出する前 6 か月以内に撮影した縦 4 cm、横 3 cm のもので、裏面に氏名を記入したもの。）を添付すること。
 - 第二種電気工事士免状交付申請に伴う手数料は、5, 3 0 0 円です。手数料の納付方法はキャッシュレス決済となります。

免状の送付先

〒

◆住所

「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」（住民票や運転免許証）に記載されている「住所」を記入してください。

◆電話

日中に連絡の取れる「電話番号」を記入してください。

◆フリガナ

記入漏れに注意してください。

◆免状に記載する氏名

「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」に記載されている字を使います。

・免状に記載する氏名に「旧姓等」を用いたい場合は、この記入欄の氏名を必ず「旧姓等」にしてください。

・「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」で確認できる場合は、免状に記載する氏名を「旧姓等」で交付します。

◆電気工事士免状を受ける資格

第二種電気工事士試験に合格し免状交付を申請する場合は、「1」を丸で囲んでください。
養成施設を修了したことにより免状交付を申請する場合は、「2」を丸で囲んでください。

◆免状の送付先

免状は、申請者の住所へ、簡易書留で発送します。
「職場の方が受け取りやすい」などの理由で、申請者の住所と異なる場所で免状を受け取りたい場合は、記入してください。